

成蹊学園 広報



2011
Winter
vol.80
SEIKEI GAKUEN



創立100周年に向け、さらなる躍進を 2011年 新年のごあいさつ



インタビュー
桃李の
人々

作曲家

服部 隆之

継続によってドラマチックな
“化学反応”が生まれ
必ず道が開ける！

Contents

- 2 新年を迎えて
- 4 成蹊学園三菱留学生奨学金
- 5 成蹊音楽祭開催
- 6 桃李の人々(服部 隆之)
- 9 成蹊教育のいま(村田 典子)
- 10 百年十話 ―成蹊学園の歴史―
- 12 成蹊学園創立100周年
記念事業特集(経済学部)
- 14 大学の近況
- 16 中学・高等学校の近況
- 18 小学校の近況
- 20 募金局だより
- 22 学園トピックス
- 23 2010年度の就職状況について
- 24 学園史料を読む

蹊

Series 学園史料を読む



府立第五中学から赴任したばかりの加藤藤吉(一八八七―一九七二)が、前任校で実施していた気象観測を成蹊の生徒とはじめたのは一九二五(大正一四)年秋のことです。翌一九二六年一月「気象観測法」に基づく正式観測が開始されました。以来学園の観測は、一九五九(昭和三四)年に設けられた「成蹊気象観測所」により今も続いています。

初年度の『気象観測報告』では、「空気の温度」と「降水量」の記録のみ公表されましたが、三年後の報告には水蒸気圧力、湿度、風向及び風速、「ジョルダン日照計」による日照時間加わり、短期間でさまざまな装置が揃えられていったことが伺えます(※1)。学園史料館に残る《ロビンソン風速(風力)計》も、この頃購入されたもののひとつと考えられます。

《ロビンソン(椀形)風速計 Robinson Cup - anemometer》

アイランドの天文学者トーマス・ロビンソンが一八四六年に発明したこの計器を、加藤は《椀形風速計》とも呼びました(※2)。その名の通り椀状の四つの風杯を九〇度ごとに配し、風を受けた回転数により風速を測定するもので、史料館所蔵の風速計は、創業してまもない湯島の「大田計器製作所」で製造されています。

日本では明治時代からこの四杯型風速計が普及し、気象庁でも長く使われていましたが、昭和半ばにより精度の高い三杯型に取って代わられ、今は目にする機会もなくなりました。

「観測する以上は努めて厳正を期し、かつ他の観測所の観測結果と比較もでき、又研究資料ともなる様にした(※3)」という言葉を残した加藤藤吉の功績は、理科教育に気象観測を取り入れた点のみならず、成果公開と学術的貢献を最初から視野に入れ「専門家の間で定められた」方法と装置を導入したことにあるといえるでしょう。八十年以上にあたり一貫性の保たれた観測データは、東京西部の記録として現在も多くの研究者の注目を浴び、ますますその重要性を増しているのです。

(成蹊学園史料館 穴山 朝子)

(写真)

左上：《ロビンソン(椀形)風速計》昭和初期(推定) 成蹊学園史料館蔵
右下：加藤藤吉著『気象の一般知識』1947(昭和22)年より

※1 成蹊学園『気象観測報告』1927(昭和2)年、1930(昭和5)年
※2 加藤藤吉『気象の一般知識』1947(昭和22)年41頁
※3 成蹊学園『拾箇年観測報告』1936(昭和11)年



成蹊学園広報

2011年1月10日 発行
学校法人 成蹊学園総務部広報課
東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話 (0422) 37-3517
URL <http://www.seikei.ac.jp> e-mail koho@jim.seikei.ac.jp



新年を迎えて

いよいよ翌年に控えた
創立一〇〇周年に向け、
成蹊学園はさらに躍進を続けます。



理事長
佃 和夫（つくだ かずお）

【略歴】	
1968 年	東京大学大学院 船舶機械工学専門課程修了
1968 年	三菱重工業株式会社入社
1986 年	成蹊大学非常勤講師（工学部） （1991 年 3 月迄）
2003 年	三菱重工業株式会社取締役社長
2006 年	成蹊学園理事 成蹊学園評議員
2008 年	三菱重工業株式会社取締役会長
2009 年	成蹊学園理事長

皆さま、明けましておめでとうございます。
平素よりご父母ならびに卒業生、関係各位の皆さまより、温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

「新・成蹊創造プラン」の推進と 成蹊教養カリキュラムの始動

ご承知のとおり、二〇一二年、成蹊学園は創立一〇〇周年を迎えます。これに先立ち学園では、二〇〇二年より総力を結集して創立一〇〇周年記念事業「新・成蹊創造プラン」に取り組んでまいりました。この事業は、創立者中村春二先生の精神をくみ、一貫した教育理念のもとで「個性を持った自立的な人間」を創造しようとする改革事業であります。

学園を縦断的につなぐ国際教育センターの設立に始まり、大学情報図書館の新設、小学校における二十八人学級制の実現と小学校校舎の建て替え、中学・高等学校における一貫教育の強化と各学校のホームルーム棟の建替え等、学園の全ての教職員が一丸となっておよそ一〇年にわたる計画を着実に実現してまいりました。

さらに二〇〇九年には、学園の歴史と伝統を象徴する学園本館の耐震補強を主とした改修工事、四〇〇メートルグラウンドの改修工事が竣工し、このグラウンドを学園の新たなシンボルとすべく、公募により『けやきグラウンド』と名づけられました。

また昨年四月には、大学における新たな教養教育として、全学共通の「成蹊教養カリキュラム」が始動したことも重要な出来事でありました。この「成蹊教養カリキュラム」は、中村春二先生の教育理念である「個性尊重の人格教育」を受け継ぎ、文理の枠を越えて幅広い教養と確かな英語力の修得を目指したカリキュラムです。カリキュラム群のひとつである桃李成蹊科目の中には、成蹊の歴史や教育の特色、成蹊で育った人々などについて学ぶ「成蹊を知る」などの科目があり、成蹊の学生としてのアイデンティティを確立する一助になるものと期待しております。桃李成蹊科目にはその他に、吉祥寺に生活する方々の語りの中から、成蹊と武蔵野

学園環境マネジメント システムについて

次に、ここ数年にわたり、学園をあげて取り組んでいる環境改善への取り組みについてご報告させていただきます。

学園では二〇〇八年十一月、「ISO14001」認証を取得し、その後も、小学校、中学・高等学校、大学、それぞれの特色を活かして、教職員一同で環境改善活動が続けております。認証規格に基づく環境マネジメントシステム（EMS）活動も成果を上げており、二〇〇九年に行った内部監査では、学生が初めて監査員に加わり、教職員とともに内部監査を実施。翌二〇一〇年はさらに多くの学生が内部監査に参加しました。こうした活動を通して、学生と教職員の連携が図られるとともに、それぞれの環境保全に対する意識がさらに高まるものと期待しております。学園では、今後もEMS活動の内容を継続的にチェックしていくため、昨年七月から九月にかけて学内アンケートを実施し、それをもとに今一度、環境側面を洗い出す作業も行いました。

また昨年九月には、大学における新たな教養教育として、全学共通の「成蹊教養カリキュラム」が始動したことも重要な出来事でありました。この「成蹊教養カリキュラム」は、中村春二先生の教育理念である「個性尊重の人格教育」を受け継ぎ、文理の枠を越えて幅広い教養と確かな英語力の修得を目指したカリキュラムです。カリキュラム群のひとつである桃李成蹊科目の中には、成蹊の歴史や教育の特色、成蹊で育った人々などについて学ぶ「成蹊を知る」などの科目があり、成蹊の学生としてのアイデンティティを確立する一助になるものと期待しております。桃李成蹊科目にはその他に、吉祥寺に生活する方々の語りの中から、成蹊と武蔵野

また昨年九月に実施されたサーベイランス審査では、「学園全体として環境マネジメントシステムへの取り組みは積極的であり、目的・目標の達成状況も良好。効果的な内部審査も実施されている」との総評をいただいております。学園としては、こうした環境への取り組みを通して、児童・生徒・学生が環境保全、環境改善に対してさらに高い意識をもつようになることを願っております。

「創立二〇〇周年記念式典」と 将来構想検討委員会の設立

学園では二〇〇九年十一月に、「創立一〇〇周年記念行事推進室」を立ち上げ、一連の創立一〇〇周年行事におけるコンセプトを「心の力」を、未来へ。」「サブコンセプトを「教養ある豊かな人間性」で時代をひらく。」として、さまざまな行事を企画しております。

創立一〇〇年の節目として最も重要である「創立一〇〇周年記念式典」は二〇一二年五月十二日（土）、「東京国際フォーラム」を会場として、開催することが決定いたしました。この記念すべき学園の節目の時を皆さまと共有したく詳細をさらに検討中ですので、ご期待いただきたく存じます。

さかのぼること十余年、一九九九年六月に私どもは、「成蹊学園二十一世紀構想検討委員会」を立ち上げ、翌年七月に学園改革の方向を示す大綱「二十一世紀における成蹊学園の新たな創造に向けて」を立案いたしました。冒頭よ

市との共生を学ぶ「武蔵野地域研究」など、成蹊ならではのユニークな科目も揃えており、学生たちの評判も良好のようです。

また「成蹊教養カリキュラム」全体の大切な柱の一つである英語教育では、全学部（学部）の必修科目を課すとともに、英語力判定、レベル別クラス、学習効果測定のほか、学生自身の英語の「学び」を多方面から支援する「アセット・プログラム（ASSET-Program）」が特徴的で、学生たちは英語力判定のために学内で実施されるTOEIC-IP、TOEFL-ITPを必ず受験します。近年、実際に使える英語力を身につけているか否かが、社会で活躍するうえでの重要な条件となってきたいます。「成蹊教養カリキュラム」におけるこれらの英語教育を通して、学生たちにはぜひ、確かな英語力を修得してほしいと思っています。

さらに「成蹊教養カリキュラム」では、全学部でゼミ形式の「基礎演習」を一年次の必修科目として開講していることも、大切な特色のひとつです。この双方向対話型の授業により、学生たちは、他者を理解する力、自己表現力など、

りご報告してまいりました「新・成蹊創造プラン」も、この大綱で示した改革の一部です。

また、学園運営の「見える化」も提言されており、昨年来、理事長の下に検討委員会を設置し、学園全体のガバナンス体制及び意思決定プロセスの改革を検討しております。可及的速やかに成案として取り纏め、学園を挙げて改革に踏み出す所存であります。

以上の通り、諸施策の実現を一つひとつ着実に積上げてきておりますが、「創立一〇〇周年記念式典」を目前に控え、これまでの一〇〇年の歴史と伝統を踏まえて、より魅力ある学園へと成長するためには、「新・成蹊創造プラン」後の新たな将来計画を策定しなければならぬ時期に来ていると強く感じております。

そこでまずは、「二十一世紀における成蹊学園の新たな創造に向けて」での提案がどのように実現し、具体的な成果を出しているのか、残された問題はないのかということについて、しっかりとアセスメントを行いたいと考えております。

そしてその結果を踏まえ、創立一〇〇周年以降の成蹊学園の将来計画の策定に取り組む所存であり、この一月より、成蹊学園将来構想検討委員会を立ち上げて検討を開始いたします。

伝統ある成蹊の名のもと、本年も学園では教職員が一丸となって、職務に邁進してまいります。児童・生徒・学生の皆さんには、さらなる健闘を、そして二〇一一年がご父母、関係者各位の皆さまにとって良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

成蹊学園創立100周年記念行事

第4回 成蹊音楽祭

2010年12月26日(日)、成蹊学園本館大講堂にて第4回成蹊音楽祭が開催されました。

本音楽祭は成蹊関係者だけでなく、武蔵野市在住・在勤・在学の方にも公開され、

当日は464名の方々にご来場いただきました。

ご来場くださいました皆さま、本当にありがとうございました。

第一部

第一部は小学校児童および教員、卒業生、保護者の演奏が披露されました。

箏曲有志の会は児童、教員に加え、今回新たに指導をお願いした成蹊大学生が参加し、難曲「花筏」に挑戦しました。和太鼓部は東京都三宅島の伝統芸能である三宅太鼓をタップダンスを交えて披露、趣向を凝らした演奏に場内が盛り上がりました。卒業生からは成蹊グリークラブが、柏陽一さんを指揮者としてステファン・フォスターの名曲やジブリ映画音楽など多様な曲目を合唱しました。続いて保護者による成蹊コーラスでは、相澤直人さんを指揮者とし、覚和歌子さん作詞の合唱曲を4曲披露、美しい歌声が会場に響き渡りました。成蹊コーラスの演奏終了後、特別出演として卒業生の参加するグラスハーブアンサンブルが出演し、ソロおよび3台の合奏曲を演奏しました。

第一部の最後を飾った小学校ブラスバンド部は、前回に引き続きオリジナル曲“希望のこみち”を新たな編曲で演奏しました。この曲はメインメロディーの歌詞を募集し、来年の音楽祭にて演奏する予定です(詳細は決定次第学園HPにてお知らせいたします)。



第二部

第二部には、卒業生と成蹊大学管弦楽団有志をメンバーとし、新たに結成した成蹊けやき管弦楽団が出演しました。今回の音楽祭への出演が第一回定期演奏会となった本団体は、卒業生の高井優希さんを指揮者とし、息のあったすばらしい音楽を奏でました。最後に、成蹊学園校歌が演奏され、第4回成蹊音楽祭は大盛況のうちに終了いたしました。



出演団体と演奏曲目

	団体名称	曲 目
第一部	小学校 箏曲有志の会	六段の調 花筏
	小学校 和太鼓部	三宅太鼓
	成蹊OB 成蹊グリークラブ 指揮：柏 陽一	いつも何度でも 時には昔の話を My Old Kentucky Home Amazing Grace あの鐘を鳴らすのはあなた
	保護者 成蹊コーラス 指揮：相澤 直人	組曲リフレインより「こみちのきもち」 組曲リフレインより「遠く」 ここからいちばんとおいところ いのちの名前
	グラスハーブアンサンブル	韓国ドラマ「冬のソナタ」より 「最初から今まで」 ヴィヴァルディ「四季」より「冬」 カチュア キリストの誕生
第二部	小学校 ブラスバンド部	オリジナルジャズ“希望のこみち”
	大学、成蹊OB・OG 成蹊けやき管弦楽団 指揮：高井 優希	交響曲第7番ロ短調 D759「未完成」 交響曲第5番ハ短調作品 67「運命」 成蹊学園校歌

成蹊学園

三菱留学生奨学金

二〇〇七年四月、成蹊大学および成蹊高等学校の留学制度を利用して海外に留学する学生、生徒の中から、成績が優秀であり、高い留学成果を期待できる派遣留学生を対象とした本制度が導入されました。

国際教育センターにて所定の審査を行い、原則として大学および大学院は百二十万円、高校は五十万円の奨学金を受給することができます。導入以来、現在まで、左記のとおり大学院から一名、大学から一名、高校からは三名の、あわせて五名に奨学金が支給されており、昨春秋、大学院からの受給者第一号となった大原智子さんが、約二年間に渡るイギリスへの留学を終えました。残る四名は現在も海外での留学生生活を継続しています。

国際教育センターでは、今後ますます優秀な留学生に奨学金を支給し、その活躍を願うとともに、受給者が挙げた留学の成果を皆さまにお伝えしていきたいと考えております。

【派遣留学生一覧】

	氏 名	留学先	学校名
大学院	大原 智子さん	イギリス	ロンドン大学
大 学	李 セッビヨリさん	韓国	高麗大学
高 校	秋元 万由子さん	アメリカ	セントポールズ校
	佐々木 陽菜さん	オーストラリア	カウラ校
	小坂 瑠依さん	アメリカ	セントポールズ校

留学生の声

EU法とWTO法の差異について 両法の比較研究を行いました

法学政治学研究科
法律学専攻

大原 智子さん



私は2008年9月より2年間、University College London, School of Lawの研究コースで学びました。当大学院は、トップレベルの大学であり、研究主体の大学院です。そのため、世界各国から学生が集まり、ヨーロッパはもちろんのこと、アフリカ、南アジア、東南アジアなど、多様な国の学生たちと机を並べて学ぶという、貴重な体験ができました。

留学中はEU法とWTO法における通商

体制の差異について、品物の生産過程をそれぞれの様に規制しているか、という観点から両法の比較研究を行いました。また、両法律制度のみならず、その背景となる政治経済哲学まで、大学の主催するセミナーに参加することができ、幅広く学ぶことができました。品物の生産過程を規制する法律※はWTOにおいて主要な貿易問題となっている為、WTOの一員である日本にとっても今後の重要な政策課題のひとつです。日本

の大学院では、主に、EU法とWTO法をまんべんなく、包括的に学ぶことはできないので、その違いを深く痛感しました。

母国語ではない英語で、法律を学ぶのはとても大変でしたが、良い友人や、指導者にも恵まれ、充実した2年間で過ごすことができました。このような、貴重な経験をさせていただいたこと、成蹊学園三菱留学生奨学金をいただくことができたことに、大変感謝を申し上げます。来年度からは、成蹊大学にて引き続き同じテーマにて博士論文の執筆を行います。日本におけるWTO法研究の一端を担えるように、来年度も勉学に励んでいきたいと思っています。

※例1:環境に配慮し、製造過程で二酸化炭素の排出を削減して生産された商品に付けられるエコラベル。

例2:遺伝子組み換え食物を材料の一部に用いて生産された食品。





インタビュー

桃李の卒業生ロングインタビュー

人々 vol.28

プラスバンド部で
毎日三〜四時間練習

—成蹊小学校に三年生から編入された
のですね。

服部 祖父（良一氏。作曲家）が吉祥寺に住んでおり、父（克久氏。作曲家）も成蹊出身でした。私にも同様の教育を受けさせたいと考えたのでしよう。ところが、小学校受験に失敗。三年次の編入試験でリベンジを果たすことができました。

—小学校時代の思い出を聞かせてください。

服部 楽しかった思い出ばかりです。とくに印象に残っているのが、夏の学校、冬の学校です。六年生の夏の学校

作曲家

服部 隆之

Takayuki Hattori

日本アカデミー賞優秀音楽賞を受賞するなど、テレビドラマや映画などの音楽担当として活躍されている服部隆之さん。パリのコンセルヴァトワールに留学されるまで、9年間、成蹊学園で学ばれています。プラスバンド部、吹奏楽部などで活動した当時の思い出と、後輩たちへのメッセージを語っていただきました。

継続によつてドラマチックな “化学反応”が生まれ 必ず道が開ける！

では遠泳に挑戦しました。無事に完泳できたことと、日本水泳連盟の二級を取得したことから、自信がつき、現在でも暇を見つけてはプールに通うなど、水泳が趣味になっています。

また、担任の木村定治先生は、とてもやさしい方だったのですが、子どもの幼い見栄、虚栄心による嘘や、友人への裏切り行為だけは厳しく注意されました。「地に足をつけて生きることが大切」と言われたことを覚えています。

—中学でプラスバンド部、高校で吹奏楽部に所属されていますね。

服部 父がプラスバンド部でトランペットを吹いていた影響で、当初はトランペットを志望していたのですが、プラスバンドの花形楽器だけに、大変な倍率で断念。トロンボーンを担当しました。毎日、放課後、三〜四時間練習がありました。管楽器はマウスピースで唇を慣らして、ウォーミングアップしてからでないと吹くことができません。まず個人練習で吹ける状態にした後、パートごとの練習、さらに全体

練習と進むため、それだけの練習時間が必要になるわけです。また、夏休みには、文化祭の演奏に向けて、箱根寮で約一週間の合宿がありました。朝六時半に起床して、食事の時以外は練習していました。

そのほか、クラスの仲間とバンドを結成。私はキーボード担当で、文化祭の時、前庭の特設ステージで野外コンサートを行いました。

朝、ピアノの音に見送られて
家を出る環境で音楽に親しむ

—やはり当時から音楽が大好きだったのですね。

服部 父は仕事場を設けず、自宅の応接間で仕事をしていました。徹夜で作曲することも多く、朝、学校に出かける時に、「ポローン、ポローン」というピアノの音に見送られて家を出るような生活をおくっていましたから、自然に音楽に親しむようになりました。

ピアノも四歳から習い始めました。といつても、それほど特別なことではなく、

フランスは街に
音楽が息づいている

—高校二年生で中退して、パリのコンセルヴァトワールに留学されたのですね。

服部 先ほど申し上げたような環境で育ちましたから、他の子どもが将来の仕事として、銀行員やエンジニアを思い描くのと同じように、作曲家が選択肢の一つになっていました。中学二年生頃には音楽の道に進もうという意思が固まっていたと思います。そのためには、父も在籍したコンセルヴァトワールで学びたいと考えたのです。中退して留学したのは、少しでも早くクラシック発祥の地の空気に触れたいという思いが強まったからです。もともと、合格するまでに二年を要しましたから、今振り返ると、卒業してから留学すればよかったという思いもあります。

—音楽に関して、日本とフランスではかなり違いがあるのですか。

服部 日本ではコンサートに行くというと、何か特別な行事のようになってし



—コンセルヴァトワールではどんな勉強をされたのですか。

服部 和声科と対位法科で学びました。和声学とは和音のこと。対位法は複数の旋律をそれぞれの独自性を保ちながら調和させて織りなす技法で、バロック音楽などに用いられています。

感情を思い切り込める
音楽に刺激を受ける

—留学を経験されたことによって、音楽への意識が変化した部分はありますか。

服部 日本とフランスでは、演奏への意識に大きな違いがあります。日本の場合には、冷静さが重視され、過度に華美にしない演奏が高く評価される傾向があります。それが日本人の演奏の個性でもあるのですが……。それに対して、フランス人の演奏は、自分の感情を思い切り込めようとしています。この点は、同じヨーロッパでも、国によって違いがあります。ドイツなどのゲルマン系は規律が重んじら

—それが作曲をされる上で役立っているのでしょうか。

服部 そう思います。もともと、現在、作曲家になって早くも二十年が過ぎました。いわゆる商業音楽の世界で仕事をしていますから、相手の要望に必要がありますし、さまざまな制約もあります。二十年も経験を積むと、相手と意見が異なっている、折り合いをつける賢さ



民事手続法

大学・
法学部

むらた のりこ
村田 典子

成蹊大学
法学部准教授

新たな一歩を踏み出すための
倒産というシステム

実は前向きな倒産の世界

「倒産法の研究をしています」というと、一瞬「えっ」という顔をされることがよくあります。どうも、学生や一般の方々にとって倒産とはできるだけ避けたい事態であって、そこまで行ったらもう終わりという後ろ向きなイメージが強いようです。しかし、倒産という現象あるいは倒産法の世界を覗いてみると、決してそんなことはありません。倒産は私たちの経済社会にとって必要不可欠なシステムであり、また新たな一歩を踏み出す機会を与えるという前向きかつ生き生きとした場面でもあります。

社会に必要な倒産システム

自由な経済活動が認められている現在の社会においては、景気の変動や経営者の経営能力の不足、産業構造の変化といった原因によって、企業の収益が低下することは避けられません。その状態が続くと、企業は金融機関から借りたお金や取引相手に対する代金などを支払えなくなってしまう。この他人に対する債務を支払えなくなった状態を



東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程中途退学、國學院大学法学部准教授を経て、2010年4月より現職。最近の業績として、①「当事者主導型倒産処理手続の機能の変容（1）（2・完）—アメリカ合衆国連邦倒産法第11章手続における債権者の手続支配—」民商法雑誌138巻6号59頁・同139巻1号37頁、②「民事再生手続における監督委員の意義」事業再生研究機構編『民事再生の実務と理論』357頁。①により、財団法人民事紛争処理研究基金平成21年度倒産・再生法制研究奨励金（トリプルアイ・高木賞）選考委員会奨励賞受賞。

も身につけています（笑）。それでも、フランスから帰国したばかりのデビュー当初、自由奔放に作曲していた感性を、現在でもどんな仕事にも反映させているつもりです。それが私の個性であり、これから大切にしていきたいと考えています。

ドラマの顔になるような
作曲を心がける

—帰国後、どのような仕事に力を入れてこられたのですか。

服部 父は作曲だけでなく、アレンジ（編曲）にも多大な功績を残しています。その影響を受けて、私もアレンジが大好きなのですが、その一方で、自分ならではのオリジナル曲を完成させたいという思いを持っていました。帰国当初はアレンジが中心でしたが、次第にテレビドラマの仕事が舞い込むようになりました。ターニングポイントになったのは、フジテレビの織田裕二さん主演ドラマ『お金がない！』の音楽を担当したこと。その時、プロデューサーから指示されたのは「最高の十曲を作ってくれ」ということでした。通常、ドラマ音楽はストーリーにあわせたものにする必要があります。たとえば俳優の不安な表情の時に使うものなど、かなり短めの曲も含めて約四十曲を作ります。ところが、彼は、そこで細かな要求をすることはなく、すべての曲が一つの完成された曲として成立し、ドラマの顔になるようにしてほしいと要

求されたのです。「ドラマのイメージアルバムを作るような感覚でいい」とも言われました。作曲家冥利につきる話であり、とてもやり甲斐を感じました。その後、三谷幸喜さんと出会い、ドラマ『王様のレ스토랑』、映画『ラヂオの時間』などの音楽を担当しましたが、この時のスタンスを貫き続けています。

—今後の目標を聞かせてください。

服部 グランドオペラに挑戦したいですね。長期公演に耐えられるオペラを作るのが目標です。そのために、観客にとっては上演時間が長いのがネックになっている観客もありますから、映画一本程度の長さのオペラを構想中です。重鎮と呼ばれる年齢になってから手がけるのではなく、体力に自信が持てる五十代前半までにトライしたいと考えています。

「継続は力なり」

恩師の言葉が心の糧に

—成蹊学園時代に学ばれたことが、その後の活動に生きていると感じられることはありますか。

服部 成蹊小学校の担任だった木村先生の口癖であった「継続は力なり」という言葉が、私にとってのいわば座右の銘のようになっていきます。木村先生は、生徒ができなかったことを叱ることはありませんでした。「結果が問題なのではない。努力し続ける姿勢が大切なのだ。だ

倒産といえます。このどうにも行き詰まった感じが、倒産という言葉の印象を悪くしているのかもかもしれません。でも、本当に注目すべきは倒産「後」です。

経済社会全体との関係で倒産という現象を眺めてみましょう。企業の倒産は、不採算企業を清算し、その企業が有していた財産を解体して、別のより有益な事業でそれらを有効活用することを意味します。また、最近では、その企業の財務状況を改善したり、経営組織を新しくしたりすることにより、企業の再生を図るということも積極的に行われています。例えば、日本航空の会社更生事件などを見ていただければわかりでしょう。倒産は、企業活動の新陳代謝を図り、経済社会を活性化、社会に欠かすことのできないシステムなのです。

倒産法とは何か

その「倒産」にどのように対処するかを定めているのが、私が研究対象としている倒産法です。倒産法の世界はとても複雑です。そもそも登場する主体が非常に多い。少し考えただけでも、倒産した企業、その経営者、従業員、金融機関、複数の取引相手等々、本当に多くの関係者を思い浮かべることができます。それぞれが自己の権利を強く主張しており、それを所で処理しようというのですから、一筋縄ではいかないのがむしろ当然と言えます。最近では、倒産を契機としてその企業あるいは事業を再生することも広く行われています。倒産法の世界でも、裁判所で行われる適正・公正な手続の下、倒産から始まる再スタートに向け、倒産事件を処理する弁護士や関係人たちのダイナミックかつ生き生きとした活動が繰り広げられることとなります。倒産法の世界は、さまざま



から、たとえ無理そうに思えることでも、怖じ気づかずにはトライしなさい。頑張っ取り組もうとすること自体が尊いことなのだ」とよくおっしゃられていました。その言葉が今でも心の糧になっています。

—最後に、成蹊学園の後輩たちにメッセージをお願いします。

服部 今申し上げた「継続は力なり」という言葉を送りたいですね。これまでの私はけっして順風満帆ではなく、さまざまな挫折を経験しています。そもそも小学校受験に一度失敗していますし、コンセルヴァトワール入学にも二年を要しました。作曲の仕事も、最初から自分の思い通りの方向性だったわけではありません。それでも自分を信じて、あきらめずに継続すること。そうすれば、ふとしたきっかけで、ドラマチックな「化学反応」が生まれます。それがチャンスとなって、必ず道が開けるのです。挑戦をスタートさせなければ何も生まれません。そして、途中で投げ出さないで、頑張り続ける気持ちを大切にしてほしいと願っています。（広報課）

な権利関係が錯綜する緊張感漂うドラマ

ティックな世界でもあります。

私は、倒産法における各種法律関係をどのように処理するか、倒産処理手続は経済社会とどのように向き合うべきかを常日頃考えているわけですが、それはもちろん簡単に答えの出るようなものではなく、ああでもないこうでもないといきつ戻りつ考えるの繰り返しです。

自分で考えること

世の中の多くのことは非常に複雑であり、どれが正解なのかはつきりとは分からないことが多いのではないのでしょうか。そもそも正解なんてないのかもしれない。それでもとにかく考え、最適な解決策を導き出すしかないので。法学も同じです。正しい答えなどというものはなく、自分で考え抜くしかありません。考えるという作業はとても楽しいものですが、その楽しさは、残念ながら自分ですらさなければ味わうことができないものです。教員はそこに至る道筋を手助けすることはできると思いますが、ゼミの仲間と共に、時に厳しく時に楽しく、考える術を学んでいただければと思っています。



3年生ゼミにて。判例研究を行っているところ。



1年生ゼミにて。



池袋の各校の誕生

社会の要請に応え、中学校を創設。次いで小学校、女学校、実業専門学校を設立し、各校において自らが理想とする教育を実践しました。

成蹊中学校・小学校の設立

中村春二が「新教育」を提唱した大正期は、政治・社会文化の各方面で新たな動きが巻き起こった時代であった。政党政治の進展は、普通選挙を求める社会運動や民本主義の台頭を促し、大正デモクラシーと呼ばれる社会風潮を生み出していった。

その影響は教育界にも波及し、従来の知育偏重の教育を改めて、子どもたちの個性を尊重する自由主義的な教育運動が展開された。この運動は、後に「大正自由教育」と称されることとなるが、中村の活動は、まさに運動の先駆けに位置するものであった。

成蹊実務学校を設立して「人物養成」をはじめた中村のもとには、学校新設を求める多くの声が寄せられた。中村は成蹊中学校を皮切りに、成蹊小学校、成蹊女学校・成蹊実業専門学校を相次いで設立し、社会の要請に応えるとともに、各校において、自らが理想とする教育を実践した。

一九四（大正三）年に開校した成蹊中学校は、中村や岩崎小弥太、今村繁三らの母校である東京高等師範附属中学の同窓生たちの要望に応じて設立された学校であったが、その設立趣旨には、当時の中等教育の問題点を指摘し、二学級三十名以内の堅持、徳育の重視できないと確信していたからである。

開校に際して中村は、お茶の水女子高等師範の垣内松三教授、津田塾の津田梅子女史に教師の推薦を依頼。充実した陣容で成蹊女学校は第一歩を踏み出した。

最後に、成蹊実業専門学校は、岩崎が社長を務めていた三菱合資会社の要請により、実業界、とくに三菱の中堅的人材の育成を目的として設立された。

その教育は、実業専門学校でありながら実業教育に偏重せず、自力教育の強調、人格教育、精神主義教育、基礎学科の徹底などに重点が置かれ、内容的には高等商業の学科目を加えた高等学校、あるいはより高度な大学課程に準ずるものであった。もちろん、成蹊実業専門学校においても少数定員主義を堅持。一学級三十五名以内としたが、三菱の要請で誕生し、就職も保証されているということで百四十名もの志願者が殺到した。しかも、実際に入学を許可されたのは二十二名。文部省からは定員数を入学させるべきと抗議されたが、中村は形式的に定員を満たすことをせず、あくまで学生の質を重視する姿勢を貫いた。

このようにして諸学校が整備され、成蹊教育の体系化が進められた結果、一九一九（大正八）年には、五学校を統合した財団法人成蹊学園が成立する。しかしながら、急速な施設の拡充は池袋校地の狭隘をもたらし、吉祥寺校地への移転が検討されるところに、一九二四（大正十三）年の中村春二早世という不幸にも見舞われ、大きな転機を迎えることになる。

● 次回のテーマは「吉祥寺移転と旧制高校」です。
（企画・監修 創立一〇〇周年記念行事推進室）

視などの教育方針が謳われている。また、同校の設立により、成蹊教育の対象は「中流以上の子弟」にまで広げられることとなった。

成蹊中学校の教育は、集団としての規律を重んじるとともに、生徒の個性を伸ばす配慮が徹底していた。成績優秀な俊才も多く、そうした生徒は「飛級」で随時、上のクラスに編入され、四年修了で上級校へ進学する道も開かれていた。有名上級校への合格率は抜群で、最難関とされた高への入学率も高かった。他方で、試験結果が不良な生徒はどしどし落第させた。ただし中村は、落第生が出るのは教師自身の教育の失敗だとして、教師に猛省を求めるとともに、落第生に対して、不得手科目のみを特別指導する方法を取り入れた。落第生の自尊心を傷つけることなく、自奮自励の気性を喚起しようとしたのである。これにより、成績を大幅に向上させ、次の年に飛級してまた元のクラスに戻る生徒も出るなど、大きな教育効果をあげた。

翌一九五（大正四）年には、成蹊小学校が開校したが、これは中学校開校に伴う必然的な流れでもあった。中学校入学者が、すでに出身小学校の型にはまっており、なかには成蹊の気風に馴染まないケースもあったからである。小学校は学校教育における人間形成の最初のステップとして重大な意義を持つ。

教育の一貫性を考えると、中学校教育の充実のためには、その根底となる小学校教育から責任を負わなければならない。そう決意した中村は小学校開校に踏み切ったのである。小学校教育で何よりも重要なのは自学自修の習慣の確立だと考えていた中村は、設立趣旨で次のように述べている。

何事も自奮自励の精神をもって当たらしめ、自分のための教育だということを、小さい時からしっかりと会得させたい。教育は、自分自身の発達進歩のために、自ら進んで受くべきものだということ、本当に分かりさえすれば基礎の教育は成功したと思つてよい。自学自修の習慣を確立させるといことが、小学校教育の根底。この根底をつくるのが、成蹊小学校の使命であると考えます。

女学校・実業専門学校の開校

次いで、一九二七（大正一六）年、成蹊女学校、成蹊実業専門学校が同時に誕生した。

成蹊女学校の開校は、成蹊小学校における経験が反映されたものである。小学校を開校し、子どもたちを預かってみると、すでに母親によつて子どもの根本的な性格が形成されており、望ましい方向に指導するには様々な困難があった。そこで中村は、母親の教育こそが重要であり、そのためには女学校教育の改造から出発しなければならないと考えたのである。そして中村は、女子の教育は男子以上に鍛練的でなければならないとした。どんな苦境に立たされても、平静で、毅然として立つことができる女子でなければ、堅実な子どもは

上：「青春の血」（大正7年発行）※1
左：小学校設立趣旨書と、当時の制服 ※2
中：女学校生徒と外国人教師のスナップ ※2
右：成蹊教育の機関紙「新教育」第2巻第2号（大正5年発行）※3

人間性と品格の養成を教育目標に
「自立した職業人」の育成を目指す

経済学部 経済経営学科

経済学部では、二〇〇四年度、二学科を「経済経営学科」に統合。現代社会が直面している課題をテーマにした五つのコースを柱に、やる気と行動力を発揮できる学びの環境を提供しています。



徹底的に「学ぶ側」の視点に立ったカリキュラム改革

二〇〇四年度、経済学部は、人間性と品格の養成を重要な教育目標に、専門知識と技能を持ち、自らの力で問題を発見、解決することができ「自立した職業人」の育成を目指す、それまでの経済学科、経営学科を統合し、経済経営学科の一学科体制になりました。あわせて、一年次に経済学、経営学の基礎を修得した上で、二年次から五コースに分かれる新カリキュラムが導入されています。

「従来の学科構成は、教える側からの学問体系に基づく分類でした。学ぶ側に視点を置けば、将来、学んだ知識を実社会で応用するには、経済、経営両方の知見が必要になります。そこで、一学科体制に移行することにしたのです。また、学生のモチベーションを高めるためには、学びの内容が現実世界と直結していると実感させることが重要です。そのため、各コースは、現代の経済社会が直面する問題をそのままテーマにしています。具体的なトピッ



クスに即した学びを展開することによって、関連する知識を組み合わせながら自ら問題を見つけ、解決を図る能力と、多角的な視点、広い視野を養成したいと考えています」（藤垣芳文 経済学部長）。

社会で即戦力となる人材を育てる特別プログラム

さらに、意欲の高い学生にプラスアルファの学びを提供する二つの特別プログラムも設けられています。

「国際社会プログラム」は、異文化理解の講義やディベート、ディスカッションなどを通して、英語コミュニケーション能力を高めることが目標です。単純な日常英会話のレベルを超えた英語力が養われていると、ロナルド・S・ザブスラック教授は自信を見せています。



「ディベートでは、『技術の発達が良い面より悪い面が多いのか』『日本では高い学歴を持つべきか』『図書館にはマンガも置くべきか』といった幅広いテーマを設定。肯定、否定それぞれの立場で、英語で発言しなければならぬので、相手の意見を聞き、咀嚼した上で自分の意見をまとめる必要があり、論理的思考力や柔軟な発想力が養成されます。準備段階からチームに分かれて取り組むため、チームワークの大切さも体感することができます」。

一方の「情報分析プログラム」は、企画・調査・情報収集能力、情報分析能力、プレゼンテーション能力をバランスよく養うことをめざしています。授業は、提示されたテーマに対して、学生が調査、分析して、問題解決を図り、その結果をプレゼンテーションするスタイルで進められます。テーマはきわめて具体的で、ユニークなものになっています。「たとえば、二年次の『情報分析演習Ⅰ』では、吉祥寺の様々な商店を調

査します。あまりお客がいないので流行っているように見えない店が、固定客を抱えているため利益を上げていたり、電話注文を中心としているだけで意外と有名だったり……。ビジネスには多様な形態があり、店頭が賑わっているから利益が上がるといった単純なものではないことを実感します。学生に調査対象を選ばせると、有名大手企業になりがちですが、あえて地元商店をターゲットにすることで、思いがけない発見、驚きが得られ、発想が豊かなのです。その上で、三年次の『情報分析演習Ⅲ・Ⅳ』では、実際の企業に協力を依頼し、その企業が提示したテーマについて問題解決を図る企画書を提出しています」（中西寛子教授）。

特別プログラム



を履修した学生は就職状況も好調で、就職後もアクティブな活躍を見せています。その要因としては「論理的、客観的な視点が出てからも積極的提案する力が身につくこと（サブスラック教授）」、「最低でも六つの企画書を作成しているので、就職試験の面接で話題に困ることがないこと（中西教授）」などがあげられます。

学生の意欲も旺盛で、各プログラム定員約四十名に対して、二〇一〇年度は国際社会プログラムが一・一五倍、情報分析プログラムが一・六一倍の競争率でし

た。「特別プログラムの存在が入学動機になっている学生もいます。選抜試験に合格するためには、一年次の成績が重要になるので、好成績をあげるために一所懸命勉強しようとするモチベーション強化にも役立っています」（中西教授）。

学びの意欲を高めるために A A B を導入

さらに、経済学部では、A A B（アカデミック・アドバイザリー・ボード）という制度が導入されています。学生の学修に関わる悩みを解消するために、複数教員が一年を通じて窓口を開き、相談に応じる制度です。その背景には、学生の興味・関心に基づく学びのプログラムをよりきめ細かく設計できるように指導すること、および二〇〇四年度から全学で厳格に成績を評価するG P A制度（Grade Point Average）が導入されたことが関係しています。

「経済学部では、G P Aをもとに、成績優秀者を学部長表彰しています。また、一定の成績基準をクリアすれば、年間四十八単位まで履修可能とする制度も採用。それを生かして、三年で卒業（早期卒業制度）して大学院に進学したり、海外に留学する学生も見られます」（藤垣学部長）。

一方で、成績不振者に対しては退学勧告を行う制度もあり、A A Bはそうした学生を指導する役割も担っています。

「退学勧告対象者面談、成績不振学生面談などを実施していますが、単純に退学を促すわけではありません。むしろ学

生はこの機会を通して学修継続の意欲を新たにしていますし、その後、見事に成績を持ち直して卒業した例も少なくありません。あくまで学生にきめ細かく対応し、早めの修正を図るための制度なのです」（義村敦子教授）。

きめ細やかな指導が特徴の少人数ゼミは成蹊教育の要

もちろん、成蹊教育の特徴であるゼミにも力が注がれています。各年次には少人数の演習（ゼミ）が設置されていますが、三年次の演習はコースに捉われることなく履修も可能。多様な視点でアプローチすることができる学びの環境を実現しています。四年次は卒業論文ではなく、卒業研究という名称になっていますが、これは論文形式だけでなく、コンピュータプログラムや、ポスターなど、多様な研究成果を評価しようという試みです。

「受験人口が減少するなか、経済学部の志願者数は比較的安定しており、現代社会の具体的な問題を軸に学べる点が、受験生の関心を惹きつけることに成功したと自負しています。入学後も、現実社会の課題を卒業研究のテーマに選ぶ学生が目立つなど、手応えを感じています」と、藤垣学部長は語っています。

（企画・監修 創立一〇〇周年記念行事推進室）



藤垣芳文 経済学部長

大学の近況

J R 中央線・関東バスに車内広告を展開

九月より成蹊大学では、J R 中央線快速電車と武蔵野営業所管内の関東バス車内に、本学の広報活動の一環として、毎月車内広告を掲示しています。

九月は「シェイクスピアウィーク」、十月・十一月の両月は「公開講座」を掲示した結果、これまで成蹊大学と関わりがなかった方からも多くご参加をいただいたことが、アンケートを通じて、わかりました。

二月からは、成蹊大学を独自の視点で紹介する連載形式の新シリーズも展開していく予定です。J R 中央線と関東バスをご利用の際は、ぜひご覧ください。



※写真は1月掲載分

公開講座

「むさしの」昨日・今日・明日」

十月三十日・十一月二十七日・十二月四日・十一日・十八日のいずれも土曜日、二〇一〇年度後期公開講座「むさしの」昨日・今日・明日」が開催されました。

初回である十月三十日は、台風が接近する悪天候にもかかわらず、武蔵野市民の方々をはじめ、五百名以上の方にご参加いただきました。

なお、来年度も後期・後期にそれぞれ開催いたします。詳細については、追ってホームページなどでお知らせいたします。



「エコ大学」で五位に入賞

成蹊大学はエコ・リーグ（全国青年環境連盟）が中心となって実施された第二回エコ大学ランキングで私立大学部門五位を受賞しました。これは私立大学環境保全協議会に加盟する私立大学と、国公立大学全校の計七百四十四校を対象に環境への取り組みを調査し、積極的に地球温暖化対策を行っている大学を「エコ大学」として表彰するもので、昨年度に引き続き二回目の受賞となります。

避難訓練

十月十九日、大学二号館・けやきグラウンドにて、大規模地震を想定した避難訓練が実施されました。

この訓練は通常の授業時間から昼休みにかけて行われ、大学二号館内からけやきグラウンドへ緊急避難を行い、その後、体育館前にて消火器訓練を行いました。

成蹊学園は教育機関として、児童・生徒・学生の安全を第一と考え、防災訓練を継続的に実施してまいります。



四大学運動競技大会

第六十一回四大学運動競技大会（四大戦）本戦が十月十五日から十七日までの三日間、学習院大学を会場にして開催されました。四大戦は、さまざまな分野で交流のある成蹊大学、学習院大学、成城大学、武蔵大学がスポーツを通じて親睦を深める目的で毎年開催している伝統ある行事です。本学は昨年度に続き、総合順位で惜しくも第二位という成績を修めました。

十月二十九日には、四大戦で活躍し、優秀な成績を取った団体を表彰する「成績優秀団体賞状授与式」が本館前にて行われ、学長よりそれぞれの団体へ賞状が授与されました。



武蔵野市寄附講座開講

二〇一〇年度武蔵野市寄附講座が、「『美しかった国』へ」をテーマに全十四回開講されました。

本講座は、さまざまな分野で活躍されている講師をお招きし、世界の混迷、困難な時代を、日本の特質「和」の視点を通じて、戦争・環境・医療・教育などの分野から分析し、当世に生かすことを目的としています。

この講座は本年度より導入された成蹊教養カリキュラムの一科目としても開講されており、参加された地域の方々とともに学生も講義に耳を傾けていました。



二〇一〇年度体育会総会

十二月三日、二〇一〇年度体育会総会が本館大講堂で行われ、本年度の活動報告のほか、来年度の新役員が紹介されました。

また、この一年間の活動で特に優秀な成績を取った団体および個人に対する表彰式が行われ、体育会会長（学長）より表彰されました。左に受賞者を掲載します。

2010 年度体育会受賞者

●優秀団体賞

剣道部(男子) 全日本学生剣道優勝大会	3年連続出場
硬式庭球部(男子) 関東学生硬式テニス連盟	3部昇格
ソフトボール部(男子) 東京都大学ソフトボール連盟	2部昇格
水泳部(男子) 関東学生水球リーグ戦	1部昇格
アーチェリークラブ(女子) 関東学生アーチェリー連盟	1部昇格
理工学部硬式庭球部(女子) 関東理工科大学硬式庭球連盟リーグ戦	4部昇格
準硬式野球部 東都大学準硬式野球連盟 春季大会	3部昇格
バレーボール部(男子) 関東大学バレーボール連盟 秋季リーグ戦男子	5部昇格
弓道部(男子) 東京都学生弓道連盟リーグ戦	3部昇格
ライフセービング部(男子) 全日本学生選手権大会ビーチリレー	4位入賞

●優秀個人賞

大河原 忠輝(漕艇部) 全日本大学選手権男子 シングルスカル	8位入賞
菅沼 孝典(ライフセービング部) 全日本種目別選手権大会 ビーチスプリント	6位入賞
伊藤 雅彦(ソフトボール部) 東京都大学ソフトボール連盟 第3部 春季リーグ 第3部 秋季リーグ	首位打者 最優秀防御率 最優秀選手賞受賞

櫛祭

第四十九回櫛祭が、十一月二十日、二十一日の両日、「Canvas」というテーマで催され、両日ともに多数の来場者で賑わいました。

好天に恵まれた両日、中庭に設営されたステージでは学生たちの迫力あるライブが繰り広げられたほか、毎年恒例のスタンブラリーや模擬店、成蹊オリジナルのビンゴ大会「ADVENTURE BINGO」など櫛祭本部による趣向を凝らした企画は今回も好評のうちに幕を閉じました。



ノートテイク講習会

十一月八日と十日の二日間、ノートテイク講習会が開催されました。「ノートテイク」とは、聴覚が不自由な学生のために、二人一組で講義内容を筆記やPCにより「同時通訳」することです。

講習会では、前半に現在ノートテイク活動を行っている学生により、ノートテイクの概要・方法について解説があり、後半では実践が行われ、体系的にノートテイクを理解できる内容となっていました。この講習会は、二月にも開催される予定です。



二〇一一年度入試にむけて

本学では、高校生の大学見学を積極的に受け入れています。十一月三十日現在、延べ六十校、二千七百名の高校生と保護者が、総合学習、進路指導の一環として来校しています。参加はおもに一、二年生で、初めて大学を訪れる生徒も多く、いろいろなところに興味を示しています。

大学見学を通じて高校生活と大学生活の違いを認識し、進学に対する目的意識を向上させるなど高校生にはとても良い経験になっているようです。

また、本学では二〇〇八年度より、「全学部統一入学試験（E方式）」を実施しています。この全学部統一入学試験（E方式）は本学独自の「二教科型」入学試験で、一回の受験で複数の学部（文系三学部に限る）に出席が可能です。本学会場に加えて、横浜といたまに会場を設け、計三会場試験が行われます。

試験日は二月三日（木）の午後からで、他の一般入学試験である本学独自の三教科型（A方式）や、大学入試センター試験利用型（C方式、S方式）との併願もできます。

大学見学、入試に関するお問い合わせは左記までご連絡ください。

◆入試センター 電話 〇四二一三三七一三五三三

学位授与式のご案内

二〇一〇年度成蹊大学学位授与式を次の通り行います。

●日時 三月十九日（土）十時より

●場所 大学体育館

―ご来場の皆さま―

式場が手狭なため、式場への入場は修了者・卒業生、本人に限らせていただいております。このため、ご来校の際には、モニター放送により式の様子を別会場でご覧いただくこととなります。予めご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

モニター会場は、大学四号館ホール他です。（お車でのご来校は、ご遠慮願います）

中学・高等学校の近況

中学校 遠足

中学校では春と秋の年二回遠足を実施しています。春の遠足では、一年生、二年生が夏の学校での活動を前提にして山登りをしています。一方、秋の遠足では、一年生、三年生は飯盒炊さんを中心とした野外調理、二年生は来年度五月に予定している、奈良・京都の修学旅行での活動を念頭に置いたコース設定をしています。今年度の秋の遠足は十月二十八日に行われました。一年生は奥多摩・氷川キャンプ場でのカレイライス調理、二年生は来年の修学旅行での京都市内一日班行動に備えて、鎌倉でのグループ学習行動、三年生は奥多摩・川井キャンプ場で鍋料理の野外調理を行いました。この日はあいにくの雨天で気温も低く、生徒たちには気の毒な一日となりましたが、かまどの火で暖をとりながらの野外調理、傘を差しながらの鎌倉探訪と、いずれの学年も元氣いっぱい、天候の悪さを吹き飛ばして遠足を行うことができました。



高等学校「進路選択の秋」

毎年十月上旬に、高校一、二年生に対して次年度の授業選択コースの説明会が行われます。生徒たちはその後一か月余にわたって自分の将来を見つめ、進路を選択する時期を迎えます。

成蹊高等学校の生徒はほぼ全員が大学進学を目指しており、その進路は、成蹊大学への内部進学が卒業生全体の三割から四割、残りが外部への進学となっています。また、進学分野は文系、理系、医歯薬系、芸術系と多岐にわたっています。進路選択にあたっては、生徒のキャリア意識を醸成し、日々の学習により高い目的意識を持って取り組めるよう、進路指導部を中心に次のような指導を行っています。

● 自分を知る

高校一年の段階から自分の志向や適性を少しずつ理解していくために自己分析の機会を設けています。ホームルームの時間を利用して自分の身近な職業や興味ある職業について調べたり、自分が関心のあることを分析するなどして将来のイメージを描いています。

● 社会を知る

広く社会に触れながら将来のイメージを描くために、多方面で活躍する社会人OBや現役大学生たちの講演を聞く機会を設けています。幅広い社会性、将来への展望を身につけ、生徒がより高い目標に挑戦できるような意識づけを行っています。

● 情報を収集し分析する

大学入試多様化にともない、進路について考える際に、より高い情報収集能力と情報分析能力が求められています。どのような学部・学科があり、そこで何を学ぶことができるのかを生徒自身が意識できるよう、オープンキャンパスへの参加を促すとともに、成蹊大学および他大学のスタッフによる模擬講義や講演会を行うことによって、得られた情報を生徒自身が分析し、個性にあった進路選択ができるよう指導しています。

PTAレポート

中高PTA主催の文化講演会が行われました。担当されたPTA役員の方からの報告を紹介します。

「半径5メートルをもっと明るく」

PTA教養部 月岡 由美

十月三十日台風接近の荒れ模様の中、中高大教室においてPTA教養部主催文化講演会が行われました。



今回は、「半径5メートルの日常を歌う音楽家」として、NHK朝の「歌うコンシェルジュ」などメディアや舞台でご活躍の秦万里子さんをお迎えしました。秦さんは、女性として、高校生の双子のお嬢さんの母として、主婦として鋭い

● 授業を通じて進路を見出す

学校で日々行われる多彩な授業こそが一番の進路指導であると私たちは考えています。各教科の学習を通して自らの興味・関心の方向性を見出し、自分で希望の進路を切り開いていく、その機会を十分に与え、個人が多様な個性を生かし希望する進路を目指す手助けをすることが学校の責務だと考えています。

キャリアに対する生徒たちの考察をサポートするための企画の一つとして、十月二十八日の午後、高校一、二年生を対象にした進路企画が実施されました。

高校一年生に対しては、ホームルームの時間を利用して成蹊大学の二人の先生に講演をしていただきました。おひとりは文科系を代表して文学部現代社会科学科の見城武秀准教授、もうおひとりは理科系を代表して理工学部エレクトロメカニクス学科の弓削康平教授で、いずれの先生も、現在の研究分野のこと、どのようにしてその研究分野に関心を持ち今に至っているか、また、御自身の体験に基づき高校生時代にやっておいてほしいことなどを熱心に語られ、生徒たちは自分の将来像とそこへ向かうためになすべきことの一端に触れることができました。

高校二年生には、成蹊大学をはじめ複数の大学から十八名の先生方を迎え、模擬講義を一堂展開していただきました。講義のテーマは、心理学、政治学、建築学、生化学など多岐にわたる、生徒はあらかじめ登録していた自分が関心のある二科目の講義を受け、大学での講義の雰囲気味わい、関心を高めることができました。

十一月半ばには高校生と保護者を対象とした成蹊大学各学部説明会が実施され、来年度の授業コース選択へ向け、まさに「進路選択の秋」といった様相です。

進路指導はこの時期に限らず年間を通して行われており、年明けには成蹊中高出身の若手社会人によるキャリア講演も予定されています。

目線で身近な日常を即興で歌にし、ピアノで弾き語る新しいスタイルの音楽作りをされている方です。

コンサートは、美しいピアノの調べで始まり、その曲が校歌だと気づいたときから観客の気持ちは引きつけられていました。朝の長寿番組の挿入歌、自作の「はなまる」で自己紹介。幼少の頃から続けてきた音楽への思いを歌った「石の上にも」。今時の女子高校生の特徴を見事につかんだ「うちの娘、高一です」。知人の息子さんの思春期を歌った躍動感ある曲になった頃には、会場はお腹からの笑いの渦に巻き込まれていました。「今日はありがとう」は、全員による手話と合唱で大盛り上がり。ピークは、「緑に囲まれた豊かな環境」「近い距離にある先生と生徒」「個性を大切にする学校」など、「成蹊のよいところ」を会場の声を集めて作り上げた、しっとりとした成蹊の歌。面と向かって「ありがとう」と言えない人のことを思いながら聞いたアンコール曲の「あなたが」には、熱いものがこみあげてきました。すばらしいピアノテクニックとメッセージの込められたステージに心から笑い、涙した一時間半。ステージと客席が一体となった大教室は、暖かい空気につつまれ、日頃お会いすることのない保護者の方々、校長先生はじめ先生方との距離を近くに感じ、校舎でこういう楽しい一時を持つことの意味を改めて感じました。

皆さまから「楽しかった」「元気をもらった」という感想をいただき、後日秦さんからお礼とともに、「成蹊がいままで自由で自然豊かな学校であるといいですね。またコンサートでお目にかかれるとうれしいです。」とのメッセージを頂戴いたしました。

台風接近の中、何人の方にも集まっていただけるか心配しましたが、大教室は満席に近い状態でした。ご来場いただいた皆さま、ご尽力いただいた全ての方に主催者一同より心から御礼申し上げます。有り難うございました。

運動部・文化部の活躍

● 中学硬式庭球部

〈男子団体〉

東京都中学校新人テニス選手権大会 ベスト4
関東中学校新人テニス選手権大会 ベスト4

〈男子個人〉

東京都中学校新人テニス選手権大会 ベスト16
シングルス 元岡祐
ダブルス 元岡祐・松尾俊 ベスト4

〈女子団体〉

東京都中学校新人テニス選手権大会 第3位
関東中学校新人テニス選手権大会 ベスト8

〈女子個人〉

東京都中学校新人テニス選手権大会 ベスト16
シングルス 観田ありさ

● 中学ラグビー部

東京都中学校ラグビー秋季大会 ベスト8

● 高校ラグビー部

第90回全国高校ラグビー東京都予選 ブロックベスト8

● 高校サッカー部

第89回高校サッカー選手権大会東京都大会 ベスト16(Bブロックベスト8)

● 高校演劇部

第64回東京都高等学校演劇コンクール中央発表会
都高校演劇研究会長賞

小学校の近況

「創りだそう 努力と個性の夢の虹」



創作部



プラスバンド部

昨年度の文化祭は、新型インフルエンザの流行で年明けの二月に延期しましたが、今年度は予定通りに、秋の文化祭を行うことができました。小学校では、一学期の運動会やオープンスクールとともにこの文化祭を外部への公開行事と位置づけており、今年も三千名を超える参観者を迎えました。そして子どもたちと教員とが総合力を発揮して熱心に準備に取り組み、展示に舞台発表にと、素晴らしい仕上がりを見せてくれました。六年生は、各学級が舞台発表を行いました。自分たちで脚本を書いたり、演出についても教員の手を借りずに熱く激しく討議して摺り合わせでいったりと、高学年らしい劇作りとなりました。また、友情・平和・家族・信頼といったメッセージ性の高い劇発表となったのも今年の特徴でした。

五年生は、創立一〇〇周年目前という時期にふさわしく、「おお成蹊く成蹊今・昔」をテーマにした調べ学習の展示発表を行いました。中村春二先生の生い立ちや理念・心力歌の調べ、駒込吉祥寺へのフィールドワーク、草創期と現代の制服や校章などのさまざまな比較、さらには身近な小学校OBの皆さんへのインタビューなど、多くのテーマに分かれた子どもたちの調べが、けやきホールいっぱいに表示されました。また、プラスバンド部や太鼓部、今年度新設

甲南小学校との教員相互交流事業

兵庫県神戸市にある甲南小学校と成蹊小学校に所属する教員の相互交換派遣についての覚書調印は、二〇〇五年十一月十六日のことでした。これは、将来的には長期の（一年または二年の）教員相互交流を目指したのですが、二〇〇六年からは、まず短期間の相互派遣を複数回行うことから実施してきました。

成蹊小学校からは、この五年間で十回・延べ三十七名の教員が甲南小学校を訪問しました。また、甲南小学校からは、昨年十一月までに十二回・延べ三十五名の教員が来校しました。開始当初は、運動会などの学校行事参観を主体にした相互訪問でしたが、回を重ねるごとに学年・学級の指導内容を事前に連絡し、子どもたちの学習に具体的に関わっていく交流へと発展しています。

双方の教員の大半がお互いの学校を「知る」ことができた今、子どもたち同士のさまざまな学習交流や長期間の教員派遣の土壌が整いつつあると感じています。

小学校国際教育委員会の活動

前号で、国際教育センターの成蹊学園創立一〇〇周年記念事業として夏休みのオーストラリア体験学習を実施したことをお知らせしました。

この体験学習は、国際教育センターのもとに設置されている小学校国際教育委員会が中心となっており、実施したものです。委員会ではオーストラリア体験学習などの国際交流事業ばかりでなく、国際理解教育の推進や小学校英語教育の充実などを目指して精力的な活動を行っています。

本号では、この小学校国際教育委員会の活動から、二つの仕事を紹介します。

《ケンブリッジ大学生交流活動》

昨年九月二十五日に、ケンブリッジ大学ペン

の創作部は、初めて体育館アリーナでの発表を行い、多くの参観者が熱心に声援をおくりました。各学年の学習発表については、文化祭プログラムからそれぞれの発表テーマを紹介します。

《学年発表》

- 一年生（学年展示）
「できた！できた！」
- 二年生（学年劇）
「あぶくたったにえたった」
- 三年生（学年展示）
「学んで生かして表現する」
- 四年生（学級劇）
東組「まじよっこピカリ」
西組「金のがちよう」
南組「先生を探しに、未来へ過去へ」
北組「昔話探検隊」
- 五年生（学年展示）
「おお成蹊く成蹊今・昔」
- 六年生（学級劇）
東組「ぼくらの七日間戦争」
西組「信じる心はありますか？」
南組「過去、未来、現在」
北組「テリマカシ！オマールさん」



4年東組



4年南組



4年西組



4年北組

《専科発表》

- こみち科展（五・六年生の作品の展示）
- 理科展（三・六年生の発明くふう作品の展示）
- 美術展（全学年作品と美術部クレイアニメ発表）
- クラブ学習などの発表
- 創作部（劇発表）
「メニメニハート」
- プラスバンド部（コンサート）
「YELL」ほか
- 太鼓部（和太鼓演奏）
「初午太鼓」ほか
- オーストラリア体験学習（参加報告と映像展示）

年が明けて、学園HP表紙の「創立一〇〇周年まで」のカウントもいよいよ四百五十日を切りました。二〇一二年が学園創立一〇〇周年、二〇一五年が小学校創立一〇〇周年、二〇一四年が学園吉祥寺移転一〇〇周年となります。こうした成蹊学園の節目の記念行事のスタートとして、子どもたちが「努力と個性の夢の虹」を鮮やかに創り出してくれたことを嬉しく思っています。文化祭二日間にわたって、多くの来校者への案内をお世話してくださったPTA役員の皆さまに、心より御礼申し上げます。



美術展



理科展



フィナーレ



1年展

ブルック劇団の「から騒ぎ」成蹊公演が行われたことは、学園HPでも紹介されました。

小学校国際教育委員会では、九月二十一日にペンブルック劇団員十六名を英語授業でのゲストとして招いたり、昼食をともにしたりする活動をお世話しました。

英語授業では、午前中に十学級でケンブリッジ大学生がゲスト参加しました。四年生と六年生の普通学級や六年生の国際学級アドバンスクラスに分散したゲスト大学生が楽しいパフォーマンスを繰り広げ子どもたちとの交流を深めました。

また昼食時には、五・六年生の八学級に大学生が招待され、子どもたちとともに会食をしました。ペンブルック劇団の成蹊公演は今年で四回目となりますが、劇団員来日の機会を利用してこうした子どもたちとの接点を継続企画すること、も大切な国際交流事業の一環ととらえています。

《国際交流賞》

国際教育センターの呼びかけで、小中高大の児童・生徒・学生を対象にして活発な国際交流活動を行った個人や学級・学年を表彰する「国際交流賞」が設けられています。

二〇〇六年度が第一回で、六名の応募者があり五年生女子が絵本の翻訳をまとも「所長賞」を受賞しました。二〇〇七年度第二回は十四名の応募者、二〇〇八年度第三回は十七名、二〇〇九年度第四回は十九名（「所長賞」五年生女子）と右肩上がりの応募者の増加があり、小学校国際教育委員会も選考に嬉しい手応えを感じてきました。

第五回の二〇一〇年度は、一年生から六年生まで二十二名の応募者がありました。五年間で合計七十八名の国際交流賞への応募は、年々この国際交流賞へのご家庭の理解が深まっていることを表すものとして大変嬉しく思っています。左に今年度の応募作品のタイトルを紹介します。

- 一年女子「たのしくうたおう」
- 一年男子「インド&フィリピン料理教室」



今年度は、以上の二十二作品の中から●の三作品が「所長賞」を受賞し、二学期終業式で「所長賞・交流賞・奨励賞・努力賞」の小学校表彰式を行いました。

国際交流賞応募の呼びかけ、応募作品の第一次審査、そして国際教育センター国際交流賞審査委員会の最終審査に至るまでの活動に参画する小学校国際教育委員会としても、こうしたご家庭の理解を背景とした応募者の増加は、その労苦を超えた喜びであるに違いありません。

パソコン・携帯電話からのクレジットカード決済のご案内

パソコン・携帯電話からのお申し込みによるクレジットカード決済で、
寄付をしていただくことができます。
簡単にお手続きできますので、ぜひご利用ください。

〈パソコンをご利用の場合〉



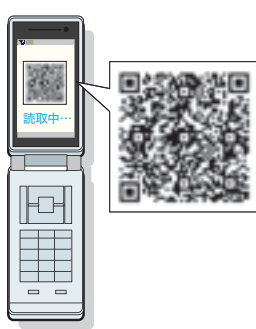
1 成蹊学園トップページ <http://www.seikei.ac.jp> を開き、画面右上にある「100周年記念事業」をクリックしてください。

2 100周年記念事業ページの左下にある「パソコン・携帯電話からの募金のお申し込みはこちら」をクリックしてください。

以降は画面表示に従って、手続きをお進めください。
決済が完了すると、申込完了メールが届きます。

〈携帯電話をご利用の場合〉

※ご利用いただけるのは、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイに対応した機種となります。



1 上の二次元バーコードを読み取り、空メールを送信してください。読み取れない場合は bokin@sk.seikei.ac.jp に、直接空メールを送信してください。

2 数秒後にURLが記載されたメールが返信されますので、そのURLにアクセスしてください。

3 「成蹊学園募金モバイルサイト」が表示されますので、お手続きください。

以降は画面表示に従って、手続きをお進めください。
決済が完了すると、申込完了メールが届きます。

【ご利用にあたって】

- クレジットカード決済は、個人の方のみご利用いただけます。（法人・団体でのご寄付をご希望の場合は、誠にお手数ですが募金局までお問い合わせください）
- ご寄付者名とカード名義人は同一である必要があります。
- ご利用いただけるカードは、DCカード・VISAカード・マスターカードです。

【お問い合わせ先】

成蹊学園
創立100周年記念事業募金局
電話：0422-37-3941
e-mail: fund@jim.seikei.ac.jp

学園本館が「日本建築家協会優秀
建築選二〇一〇」に選出されました

学園本館が社団法人日本建築家協会（JIA）の
認定する「日本建築家協会優秀建築選二〇一〇」に
選出されました。

これは建築家同士で優れた作品を表彰し、我が国
の現代建築を代表するその年の優れた作品を選出す
るもので、学園本館は「保存プロジェクト」の一つ
として選出されました。

創立一〇〇周年記念行事

入江昭先生（ハーバード大学名誉教授）の
講演会が開催されました

100. 入江昭先生は、成蹊中学・高等学校を卒業後、
ハーバード大学院にて博士号を取得されており、
世界的に有名な歴史学、国際政治学者です。
当日は「未来に向けて歴史を学ぶ」というテー
マでご講演いただき、成蹊学園での思い出話から
過去百年の世界の歴史を振り返り、その上で多様
性に富んだ現代は希望を持つべき世界であり、若
い世代の人達に未来に向けて理念、決意を持って
いてほしいとのメッセージでお話がしめくられ
ました。その後、法学部の西崎文子教授との対談
や学生とのディスカッション、来場者との質疑応
答の時間も設けられ、大変盛り上がりしました。



参加者数は二百六十四名で、大学生、大学院生
をはじめとして、高校生やご父母、ご卒業生や近
隣の方など、年齢層も幅広く、さまざまな方々に
ご来場をいただきました。

二〇一〇年度の
就職状況について

二〇一〇年度は大学新卒者の有効求人倍率が
一・二八倍と前年に引き続き減少しました。世界
的な経済状況の低迷は、採用市場において採用
数の大幅減へとつながり、中でも本学学生の多
くが進路としている金融関係が大幅に減少しま
した。

このような採用状況の中で、本学では就職希
望者数千六百二名（うち理工学研究科七十六名
を含む）の十一月一日現在の内定率は、全国平
均を上回る六四・〇％と健闘しています。

内定状況を見てみますと、文系では総数は減
少したものの今年度も金融業界への内定者の割
合が、男女とも高くなっています。その一方で、
男子はキリンビール、資生堂、三菱電機、東京
急行電鉄、日本生命保険、三井住友銀行など、
業界を代表する企業にも数多く内定しています。
女子は、東京海上日動火災保険、ブリヂストン、
新日本製鐵、三井物産、NTTコミュニケーションズ、全日本空輸などに内定しています。

また、理工学部・理工学研究科では、明治製菓、
IHI、本田技研工業、東京電力、NTTデータ、
JR東日本など数多くの優良企業に内定してお
り、堅実に実績を積み重ねています。

主な内定先企業は下表のとおりです。

（キャリア支援センター）

主な内定企業一覧（2010年11月1日現在）

企業名	企業計 (内女子)		内訳	
			文系学部 (内女子)	理工学部 (大学院含む 内女子)
みずほ銀行	13	(9)	13	(9)
三菱東京 UFJ 銀行	12	(11)	12	(11)
JR 東日本	11	(3)	4	(2)
みずほ信託銀行	10	(10)	9	(9)
三井住友銀行	9	(5)	9	(5)
東京海上日動火災保険	9	(9)	9	(9)
三菱 UFJ 信託銀行	7	(6)	7	(6)
旭化成ホームズ	7	(5)	7	(5)
多摩信用金庫	7	(3)	7	(3)
日本生命保険	6	(5)	6	(5)
新日本製鐵	6	(6)	5	(5)
三菱電機ビルテクノサービス	6		2	4
東日本銀行	6	(4)	6	(4)
あいおいニッセイ同和損害保険	6	(4)	6	(4)
損害保険ジャパン	5	(3)	5	(3)
富国生命保険	5	(4)	5	(4)
三井生命保険	5	(5)	5	(5)
日本興亜損害保険	5	(4)	5	(4)
りそな銀行	5	(3)	5	(3)
日本通運	5	(2)	4	(1)
明治安田生命保険	4	(4)	4	(4)
凸版印刷	4	(2)	4	(2)
NTT 東日本	4	(4)	1	(1)
千葉銀行	4	(2)	4	(2)
トッパン・フォームズ	4	(1)	3	(1)
第一生命情報システム	4	(3)	2	(2)
高砂熱学工業	4		2	2
キュービタス	4	(4)	4	(4)
北越銀行	4	(1)	4	(1)
サンワテクノス	4	(2)	3	(2)
ソフトバンクグループ通信 3 社	4	(2)	3	(2)
国家公務員	4		3	1
日立製作所	3	(1)		3
三菱電機	3		1	2
積水ハウス	3	(3)	3	(3)
日興コーディアル証券	3	(2)	3	(2)
中央三井信託銀行	3	(2)	3	(2)
住友信託銀行	3	(3)	3	(3)
ノバルティスファーマ	3	(1)		3
アメリカンファミリー生命保険	3	(2)	3	(2)
協和エクシオ	3	(2)		3
JCB	3	(2)	3	(2)
日本アクセス	3	(1)	3	(1)
三菱総研 DCS	3	(1)	2	(1)
八千代銀行	3	(1)	3	(1)

企業名	企業計 (内女子)		内訳	
			文系学部 (内女子)	理工学部 (大学院含む 内女子)
ダイワボウ情報システム	3	(2)	2	(2)
京葉銀行	3	(1)	3	(1)
日本出版販売	3		3	
中央三井ビジネス	3	(3)	3	(3)
守谷商会	3		2	1
東銀リース	3	(3)	3	(3)
内外施設工業	3	(3)	1	(1)
千葉県警察本部	3	(1)	3	(1)
郵便局	2	(2)	2	(2)
第一生命保険	2		2	
東芝	2	(1)		2
JR 東海	2	(1)	1	(1)
ブリヂストン	2	(2)	2	(2)
三井住友海上火災保険	2	(2)	2	(2)
大和ハウス工業	2		2	
ゆうちょ銀行	2	(2)	2	(2)
NTT データ	2		1	1
鹿島建設	2		1	1
NTT コミュニケーションズ	2	(1)	2	(1)
三菱 UFJ 証券	2	(1)	2	(1)
日本ビューレット・パッカード	2	(1)	1	(1)
山武	2	(1)		2
みずほ情報総研	2	(1)		2
ヤフー	2	(1)	1	(1)
資生堂	2	(1)	2	(1)
常陽銀行	2	(2)	2	(2)
THK	2			2
沖電気工業	2			2
八十二銀行	2	(2)	2	(2)
共同印刷	2	(1)	2	(1)
三菱電機プラントエンジニアリング	2	(2)	2	(2)
東京海上日動あしん生命保険	2	(2)	2	(2)
新菱冷熱工業	2			2
東京都民銀行	2	(1)	2	(1)
日本音楽著作権協会	2		2	
スルガ銀行	2	(1)	2	(1)
東京海上日動システムズ	2	(1)	1	(1)
横浜信用金庫	2	(2)	2	(2)
三井不動産販売	2	(2)	2	(2)
明治安田システム・テクノロジー	2	(1)		2
三菱冷熱工業	2		1	1
エトワール海渡	2	(2)	2	(2)
三菱 UFJ トラストシステム	2		1	1
岡谷銅機	2	(2)	2	(2)
損保ジャパンシステムソリューション	2	(1)	2	(1)

企業名	企業計 (内女子)		内訳	
			文系学部 (内女子)	理工学部 (大学院含む 内女子)
三井住友海上システムズ	2	(1)	1	(1)
トーメンエレクトロニクス	2	(1)	1	(1)
住商機電貿易	2	(1)	2	(1)
サイバー・コミュニケーションズ	2	(1)	2	(1)
和光	2	(1)	2	(1)
住商鉄鋼販売	2	(1)	2	(1)
警視庁	2	(1)	2	(1)
日本赤十字社	1	(1)		
東京電力	1			1
本田技研工業	1	(1)		1
日本電気	1			1
全日本空輸 [客室本部]	1	(1)	1	(1)
富士ゼロックス	1		1	
清水建設	1			1
いすゞ自動車	1			1
IHI	1	(1)		1
TOTO	1		1	
三菱商事	1	(1)	1	(1)
三井物産	1	(1)	1	(1)
アステラス製薬	1	(1)	1	(1)
大塚製薬	1		1	
日立情報システムズ	1	(1)		1
日本精工	1		1	
横河電機	1			1
大日本住友製薬	1		1	
日本政策金融公庫	1	(1)	1	(1)
住友林業	1		1	
商工組合中央金庫	1	(1)	1	(1)
みずほ証券	1	(1)	1	(1)
横浜銀行	1		1	
日本発條	1			1
アサヒビール	1		1	
東京急行電鉄	1		1	
明治製菓	1	(1)		1
麒麟麦酒	1		1	
森永乳業	1			1
帝国データバンク	1		1	
住友不動産販売	1			1
サッポロビール	1		1	
養食	1		1	
JFE エン지니어リング	1	(1)	1	(1)
日立物流	1			1
城北信用金庫	1		1	
日本総合研究所	1			1
東洋インキ製造	1		1	

成蹊学園では創立100周年記念行事企画を募集しています。

Information

大学では、2010 年 10 月より、成蹊大
学アジア太平洋研究センター創立 30 周
年、成蹊学園創立 100 周年を記念して、
「人間の安全保障と北東アジアサステ
イナブルな地域社会をめざして」をテー
マに、連続講演会・シンポジウムを 2 年
に渡って開催しています。
詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.seikei.ac.jp/>



『心の力』を、未来へ。
「教養ある豊かな人間性」で、時代をひらく。

..... これまでに以下の企画が実施されました。(2010年9月～12月実施分)

【学生企画 (大学)】

- 10月9～11日 有志団体WANと漫画制作部ベルシャ猫が、「吉祥寺アニメワンダーランド2010」に「簡単☆漫画制作広場」を出展
- 10月24日 茶道部が畠山記念館にて「成蹊学園創立100周年茶会」を開催
- 11月21日 政治学研究会およびEPPが、ハーバード大学名誉教授、入江昭先生の講演会を開催

【卒業生企画】

- 9月12日 ラグビー部公式戦（関東大学対抗戦Aグループ）にて応援用のオリジナル団扇を配付
- 12月12日 ハワイ成蹊会によるホノルルマラソンエイドを実施



吉祥寺アニメワンダーランド2010



ホノルルマラソンエイド

成蹊学園では、2012 年の創立 100 周年を盛り上げ、新たな出発をしるす記念行事の企画を募集しています。「成蹊の伝統を未来へ繋ぐ」アイデアを多数お寄せください。

企画募集については、ホームページをご覧ください。▶<http://www.seikei.ac.jp/>